

新世代の地盤調査 実績累計 3 万件を突破！
支持される精度の高い解析とコストパフォーマンスの仕組みについて

戸建住宅の地盤調査、改良工事を手掛ける LIXIL グループのジャパンホームシールド株式会社(所在地:東京都墨田区、代表取締役:齊藤 武司)は、当社が実施している新世代の地盤調査・スクリュードライバーサウンディング試験(以下、SDS 試験)の調査実施件数が累計 3 万件を突破したことをお知らせいたします。

ジャパンホームシールド株式会社 URL: <http://www.j-shield.co.jp/>



■ 新世代の地盤調査が、『なぜ』支持されるのか？

当社が実施する SDS 試験は、土質を加味して地盤を評価することで unnecessary な地盤補強工事の削減や不同沈下のリスクが回避できます。また SDS 試験機自体もスウェーデン式サウンディング試験(以下 SWS 試験)機に専用のユニットを装着するだけなので、従来の SWS 試験並みのローコストでボーリング調査並みの高精度の土質判断が可能になりました。

精度の高い解析とコストパフォーマンスが幅広く認められた SDS 試験は、大手ハウスメーカー様を始めとする多くのお客様より支持を受け 2012 年 6 月に地盤調査実績累計 1 万件、その後 10 ヶ月で地盤調査実績累計 3 万件的突破となりました。

SDS試験による適正な判断がされるケース

Case 1 事故防止
まちがった土質判断に基づいた過小設計による、不同沈下等のリスク回避

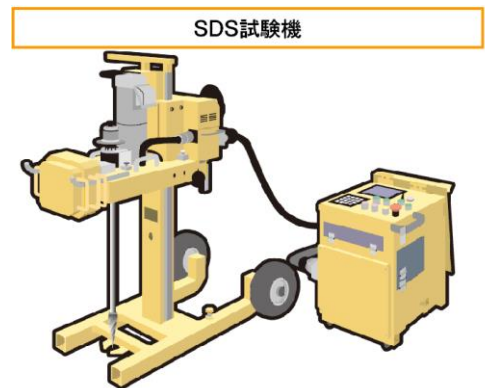
Case 2 コストダウン
良質地盤で杭を打つといった過剰設計による、不同沈下等のリスク回避

■ SDS 試験の今後の展開

当社は今後の展開として、当社実施の地盤調査における SDS 試験の比率を現在の 25.8%から 2014 年度中に 50%まで高めていくことで、精度の高い地盤調査を普及させ、地盤から安心の住まい作りをサポートしていくことを目指しています。なお、SDS 試験を用いた安価かつ効率的な液状化判定システムの開発は、平成 24 年度建設技術研究開発助成制度の新規課題として採択され国土交通省より助成金を受け開発を進めていきます。

■ SDS 試験の概要

現在主流の SWS 試験では、「砂」や「粘土」といった地盤の性質を示す「土質」について、地盤調査測定時の感触や音から『想定』しています。新世代の地盤調査方法である SDS 試験は、従来の測定データに加え回転トルク値等のデータを『分析』することで土質を判別。関東ローム層や腐植土といった土質毎の特徴【参考-1】を加味して地盤を評価できる試験法です。



地盤調査(SDS 試験工法)の動画はこちらをご覧ください。

URL: http://kigyodamashii.com/index.php?option=com_content&view=article&id=129:jhs-&catid=1:portfolio&Itemid=2

【参考-1】土質とその特徴

<関東ローム層>

富士山や箱根火山から供給された火山灰を主とする地層で、土粒子が細かいわりに透水性が良く、粒子間の結合力が強いので支持力の強い地盤を形成します。

<腐植土>

水性植物などの有機物が分解して土壌と混じり合ってきた土のことで、一般に含水比が高く圧縮性が非常に高いため支持力が弱く、不同沈下の要因の一つとなっています。

<砂質土>

0.075mm よりも大きな土粒子の粒が主体となって構成されている土のことをいいます。水の透水性は良く、地盤の支持力は比較的大きいです。

<粘性土>

0.075mm よりも小さな土粒子の粒が主体となって構成されている土のことをいいます。透水性は小さく、一般に地盤の支持力は小さいです。

■ ジャパンホームシールド株式会社概要

- (1)商号 : ジャパンホームシールド株式会社
- (2)代表者 : 代表取締役 齊藤 武司
- (3)本社所在地 : 東京都墨田区両国 2-10-14 両国シティコア 17F
- (4)会社設立 : 平成 2 年 3 月 1 日
- (5)事業内容 : 地盤調査及び関連業務、地盤補強業務、地盤環境診断業務
- (6)親会社 : 株式会社 LIXIL
- (7)ホームページ : <http://www.j-shield.co.jp/>

■本プレスリリースに関する問合せ先

ジャパンホームシールド株式会社 担当: 事業推進室 児新(コニイ)

Tel : 03-5624-1545 Fax : 03-5624-1544

Mail: eigyousjhs@j-shield.co.jp